

記者に賞  
藤新聞協  
佐新聞

# 「被災者の協力で」

## AMD A代表も記念講演

第59回新聞大会（日本新聞協会主催）は17日、岡山市で記念式典と記念講演などがあり、式典では新聞協会賞受賞の5社5件を表彰した。

死者7万人以上に及んだ「パキスタン地震」（05年10月8日発生）の悲惨さを写真で訴えた毎日新聞東京本社社会部（取材当時は写真部）の佐藤賢

二郎記者は「被災者の協力がなければこの取材はできなかった。1年たっ

たパキスタンを取材したが、まだ復興していない。変わっていないことを伝えるのは難しく、受賞を機に何ができるか考えていきたい」と話した。式典後、国際医療援助団体「AMD A」（本部

・岡山市）の菅波茂代表が記念講演。「人道支援を報じるメディアの役割として、今後は『何を書いてきたか』より、『何を書かなかったか』という不作為が問われる」などと話した。

【若狭幸治、傳田賢史】

### 第59回新聞大会決議

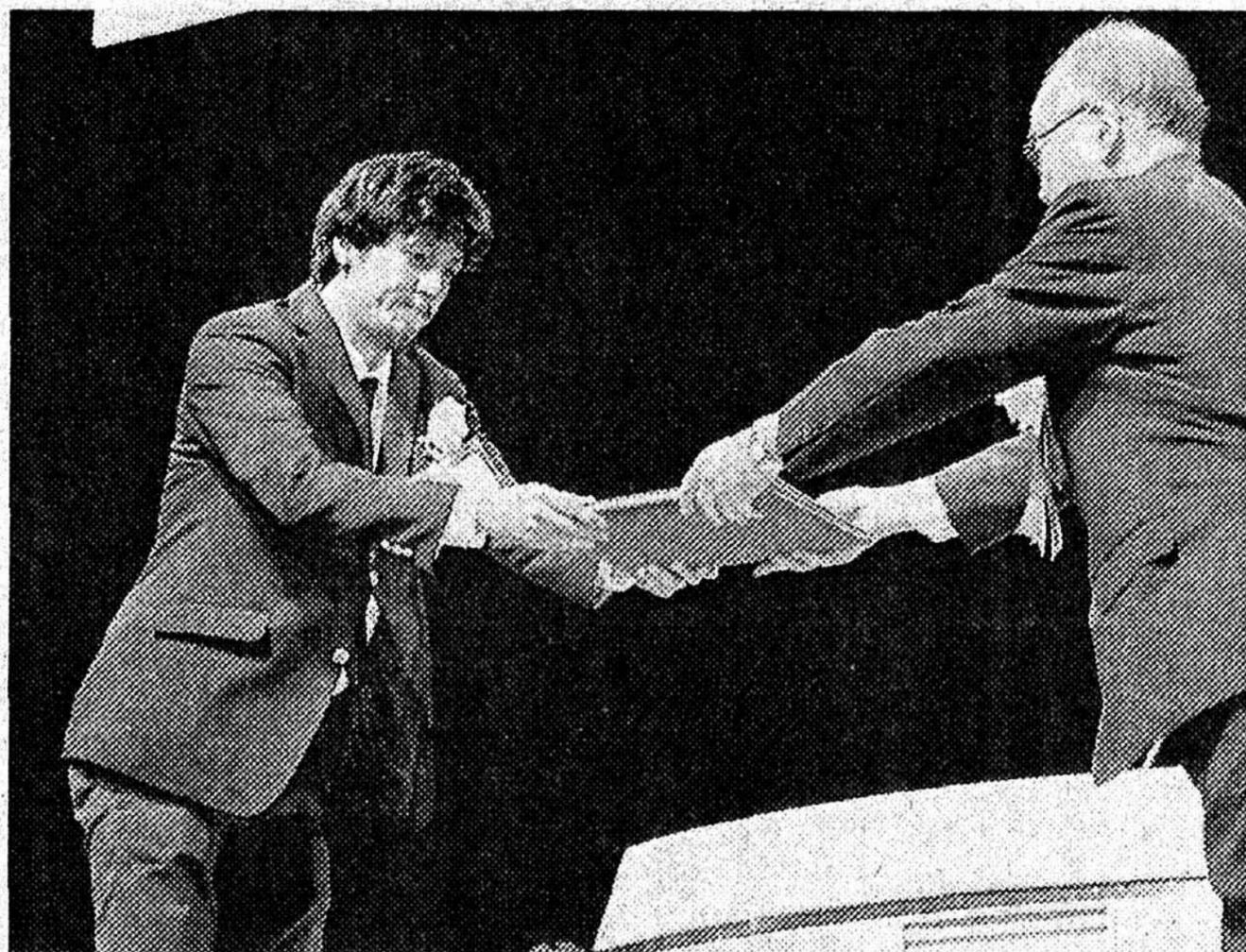
（全文）

中東情勢をはじめ、世界は絶え間ない抗争と緊張の中にある。わが国も少子高齢化、格差の広がりなど多くの課題を抱えている。人々は誰もが安心して暮らせる社会の実現を切望している。

情報環境が大きく変化する中、新聞は、活字文化の担い手として、きめ細かな取材と分析、冷静

で責任ある報道により、人々に確かな指針と展望を示さなければならぬ。

新聞協会創立60周年を迎えた今、われわれ新聞人は、暴力によって言論を封じ込めようとする動きを許さず、新聞の自由と独立を守ることによ



新聞大会で表彰される毎日新聞東京本社社会部・佐藤賢二郎記者（左）＝17日、望月亮一写す